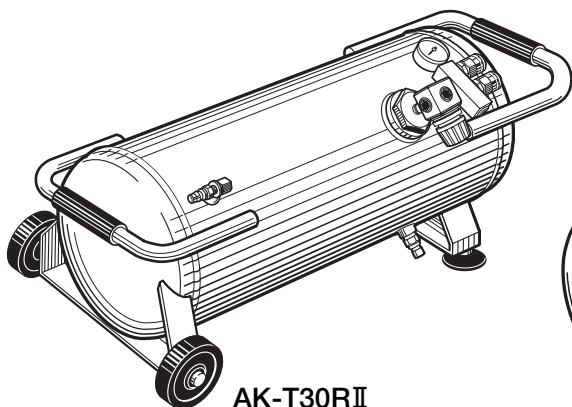
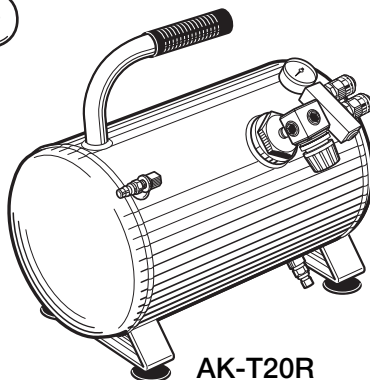
# マックス エアタンク

# AK-T20R
# AK-T30RⅡ

# 取扱説明書

## ⚠ 警 告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 本機の設置場所は硬く水平な所とする。不安定な場所では絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物（ガソリン、シンナー等）のある場所では絶対に作動させない。
- 高温や直射日光が当たる場所では絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。
- 本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。
- 移動時・作業終了時は必ずドレンコックをゆるめ、タンク内のドレンと圧縮空気を排出する。
- 改造及び衝撃を絶対に加えない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックスエアタンクをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

■表示について

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。 |
| ⚠ 注意 | この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、機械本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。 |

■絵表示について

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

## 目　　次

# 1 各部の名称と接続システム参考例

## 主要部品機能説明

| | |
|---|---|
| **❶圧力計** | 使用圧力を確認します。 |
| **❷減圧弁調整ハンドル** | 適正使用圧力に調整します。 |
| **❸ドレンコック** | 一日一回以上、作業終了時に圧縮空気とドレン（水など）を抜きます。 |
| **❹エアプラグ** | エア取り入れ口になります。 |
| **❺エアチャック** | エア取り出し口になります。 |
| **❻ストップバルブ** | ホース脱着時に、タンク内のエアの流出を遮断します。 |
| **❼警告シール** | 使用時は必ず読むこと。 |

## 安全作業のために

**本機はエアコンプレッサのタンク容量を補助することを目的としたエアタンクです。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。**

**㊟文中の各部品設置箇所は1ページ「各部の名称と接続システム参考例」にて確認してください。**

**作業前**

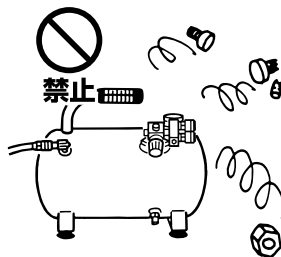
### ⚠警告

**❶作業環境に応じた防具等を必ず着用する。**

作業環境に応じて保護メガネ・防音保護具・安全帽・安全靴等の防具を着用してください。

**❷使用前に必ず点検する。**

エアタンク内に圧縮空気を充填する前に次の点検を必ず行ってください。

1. ボルト・ナットやネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり傷んでいないか。

不完全なまま使うと事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。

❷-1, 2

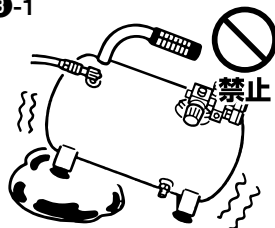
## 安全作業のために

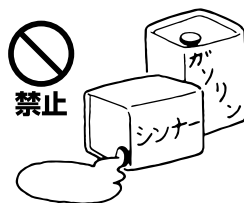
# ⚠ 警告

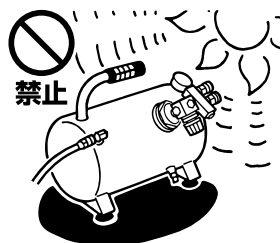
**❸本機の設置場所に関しての注意**

**1.硬く水平な場所に必ず設置する。不安定な場所には絶対に設置しない。**

移動や落下の危険性のある場所には絶対に設置しないでください。

❸-1

**2.火気や燃えやすいもののそばには絶対に設置しない。**

❸-2

**3.高温や直射日光が当たる場所は避け、必ず風通しのよい日陰などに設置する。**

❸-3

**4.ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所には絶対に設置しない。**

❸-4

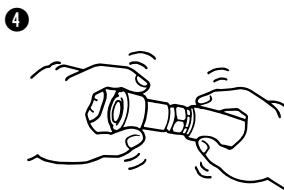
**5.適正な設置方向に必ず設置する。**

1ページ「各部の名称と接続システム参考例」のイラストを参考に適正な設置をしてください。

## 安全作業のために

### ⚠ 警告

❹**本機にエアホースを接続する前に必ずエアホースとホース金具が完全に固定されていることを確認する。**

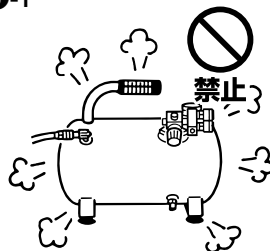
❹

❺**本機が正常に作動するか使用前に必ず点検・確認する。正常に作動しない場合は使用しない。**

14ページの「運転前の点検・確認」に沿って点検してください。

※**下記の場合には故障していますから本機を絶対に使用しないでください。**

1. 本機内部で異音・エア漏れ音がする。
2. 減圧弁調整ハンドルを操作しても圧力計の表示圧力が変化（上昇・降下）しない。

異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❺-1

❻**大切に扱う。**

落としたり、ぶつけたりすると故障の原因となります。

❻

# 安全作業のために

## 作業中

### ⚠ 警告

❶**揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。**

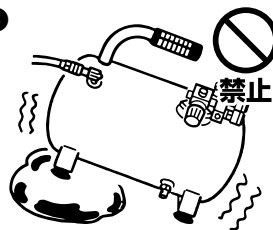
ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤などのそばでの使用は、引火または爆発の恐れがあるので絶対にしないでください。

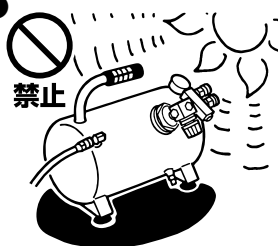
❶❷

❷**火気や燃えやすいもののそばでは絶対に使用しない。**

❸**不安定な場所では絶対に使用しない。**

移動や落下の危険性のある場所では絶対に使用しないでください。

❸

❹**高温や直射日光が当たる場所は避け、必ず風通しのよい日陰などで使用する。**

❹

❺**ゴミ（木クズなど）・ホコリの多い場所では絶対に使用しない。**

❺

❻**適正な設置方向で必ず使用する。**

1ページ「各部の名称と接続システム参考例」のイラストを参考に適正な設置をしてください。

## 安全作業のために

### ⚠ 警 告

❼上面部に座ったり物をのせることは絶対にしない。

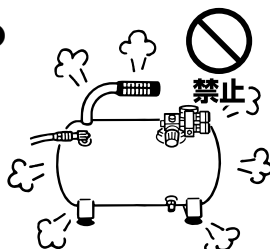
❼

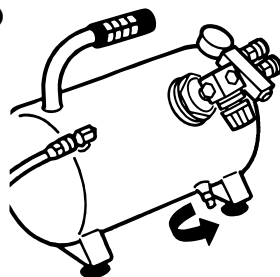
❽異常を感じたら絶対に使用しない。

機械の調子が悪い時、異常に気づいた時は直ちに使用をやめ、点検・修理に出してください。

❽

作業後

### ⚠ 警 告

❶作業終了時には、必ずドレンコックをゆるめ、エアタンク内のドレン（水など）と圧縮空気を排出する。

❶

❷本機を大切に手入れする。

より安全に性能を発揮させるため、損傷のない最良の状態を保ってください。グリップ部は乾燥させ、清潔にし、油やグリースが付かないようにしてください。

❷

## 安全作業のために

### ⚠ 警告

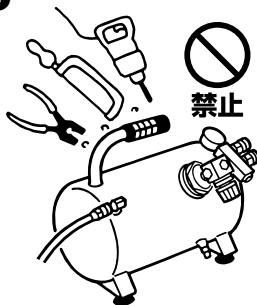
**❸本機を絶対に<u>分解しない。</u>**

万一故障した時は、点検・修理に出してください。

❸

**❹本機には改造や衝撃を加えることは、絶対に行わない。**

本機を改造したり、衝撃を加えると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので絶対に行わないでください。

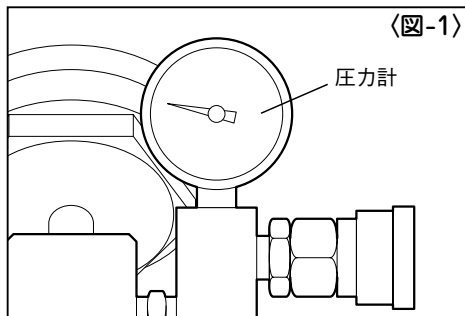
❹

# 仕様及び付属品

| 項　　　目 | 商　品　仕　様 | |
|---|---|---|
| 商　品　名 | マックス エアタンク | |
| 商品記号 | AK-T20R | AK-T30RⅡ |
| 寸　　　法 | (H) 345 × (W) 310 × (L) 440 mm | (H) 330 × (W) 355 × (L) 775 mm |
| 質　　　量 | 9.3kg | 13.3kg |
| エアタンク容量 | 17 ℓ | 26 ℓ |
| 最高使用圧力 | 1MPa（約10kgf/cm$^2$） | |
| エア取出口 | エアチャック　2ヶ所（PT1/4） | |

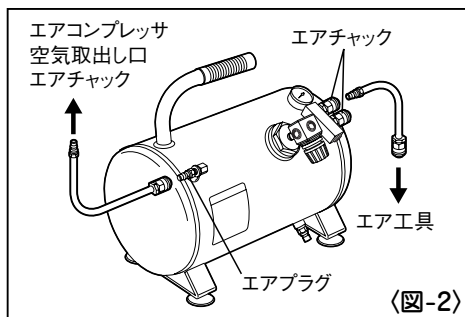
※本機とエアコンプレッサをつなぐエアホースは付属しておりません。

# 4 エアコンプレッサとの接続方法

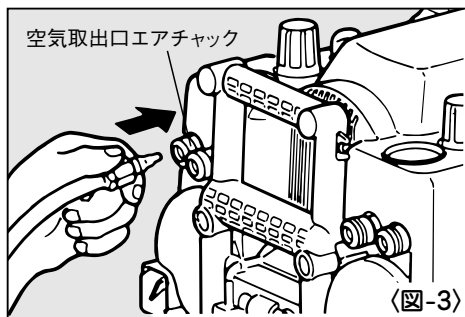
●エアコンプレッサが停止しているかどうか、又、圧力計を見てタンク内に空気がないかどうか確認してください。〈図-1〉

〈図-1〉

●右の図のように、エアホース（別売）を利用して、本機のエアプラグ側をエアコンプレッサと接続してください。〈図-2〉

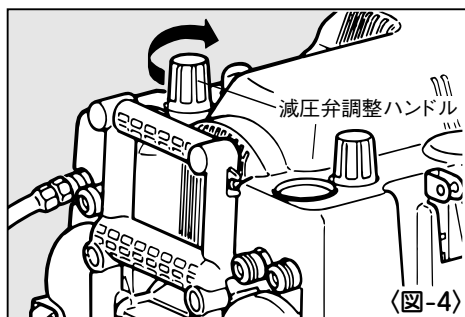
**※タンクの2本のエアチャックは、エア工具との接続に使用し、エアコンプレッサとの接続には使用しないでください。**

〈図-2〉

❶本機タンク内へエア供給するためのエアホースのエアプラグを、エアコンプレッサの空気取り出し口エアチャック（一般釘打機・エア工具用）に接続します。

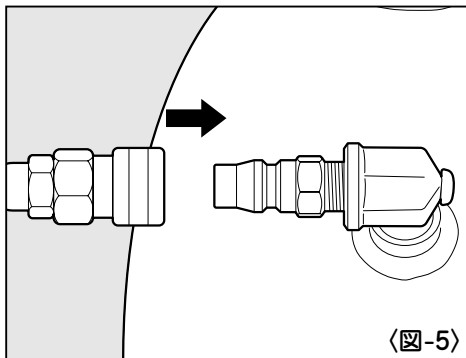
〈図-3〉

〈図-3〉

❷エアコンプレッサの減圧弁調整ハンドルを右へいっぱいに回してください。

〈図-4〉

→本機タンク内には減圧弁より取り出せる最高圧力を充填します。

●**本機に1MPa（約10kgf/cm²）を超える圧力を充填しない。**

〈図-4〉

❸取り付けたエアホースのエアチャック側を、本機のエアプラグ（エア取り入れ口）に接続します。 〈図-5〉

# 使用方法

## 運転前の点検・確認

**⚠ 警 告**

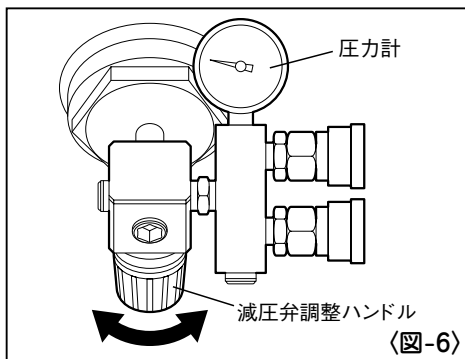
- **使用前にボルト・ナットやネジの緩み、各部部品の欠損がないか点検する。**
- **適正な設置方向で必ず使用する。**

**※2ページからの「安全作業のために」の通り正しく使用してください。**

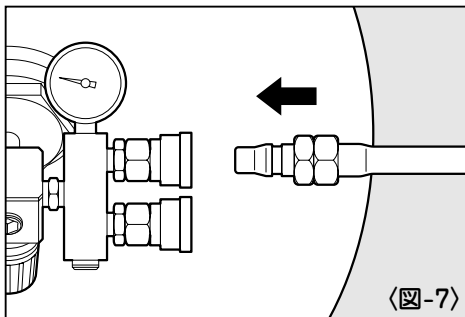
❶接続が完了しましたら、エアコンプレッサの電源スイッチを入れて（ONにして）、本機タンク内に圧縮空気を充填してください。

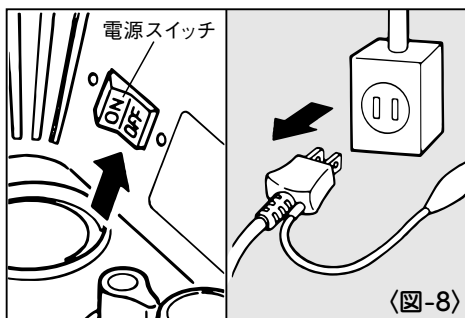
❷減圧弁調整ハンドルを回して空気工具の適正な使用圧力に調整してください。

**〈図-6〉**

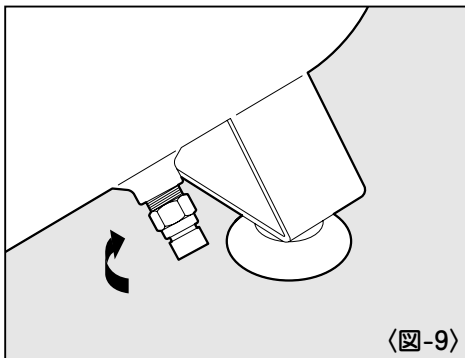
〈図-6〉

❸本機のエアチャックにエアホースを接続し、エア工具を使用してください。

**〈図-7〉**

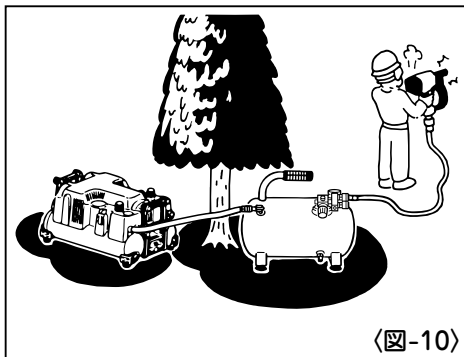
〈図-7〉

❹作業が終わりましたら、エアコンプレッサの電源スイッチを切り（OFFにして）、電源コードのプラグをコンセントから抜きます。 **〈図-8〉**

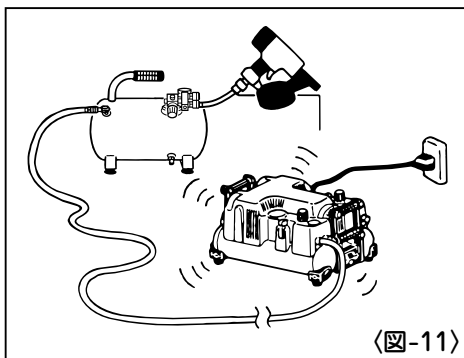
〈図-8〉

❺本機とエアコンプレッサのドレンコックを開放し、タンク内の空気とドレン（水など）を完全に抜きます。 **〈図-9〉**

❻本機とエアコンプレッサを接続しているエアホースを取りはずします。

〈図-9〉

## その他の留意点

❶本機を、風通しのよい日陰などに設置し、エアコンプレッサと本機の接続エアホースを長くすることで、エア工具内に流入するドレン（水）量を最小限に抑えることができます。（ドレンは、本機タンク内にたまります。）〈図-10〉

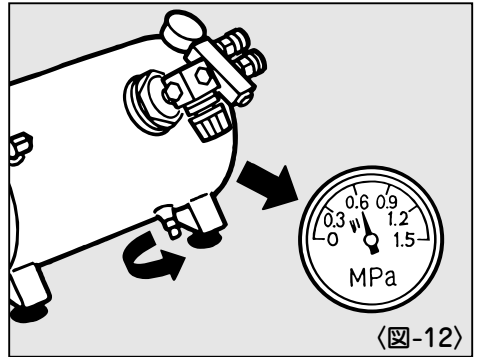
〈図-10〉

❷コードリール使用によるエアコンプレッサの電圧降下トラブルを緩和させるためにエアコンプレッサを元電源で運転させ、接続エアホースを長くして（30m以内）使用することが可能です。〈図-11〉

〈図-11〉

## 性能を維持するために

**❶本機の水抜きをする。**

作業終了時はドレンコックを開放し、エアタンク内の圧縮空気とドレン（水）を圧力計の針が0を指すまで全部抜いてください。 〈図-12〉

**※水抜きを行わないとエアタンク内に発生する錆が急速に進行し、故障の原因となります。**

〈図-12〉

**❷定期的に点検する。**

本機の性能を維持する為に清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

**❸本機を大切に扱う。**

落としたり、ぶつけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落としたり、ぶつけたり、叩いたりしないでください。 〈図-13〉

〈図-13〉

**❹使用毎に必ず点検する。**

2ページの「安全作業のために」の内容に沿って点検・確認を行ってください。

# アフターサービス、補修用性能部品について

## 【アフターサービスについて】

●本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にご相談ください。

●保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

## 【補修用性能部品の最低保有期間】

●本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●補修用性能部品とは、本機の性能を維持するために必要な部品です。

| 事業所 | 郵便番号 | 住所 | 電話 |
|---|---|---|---|
| 本社・営業本部 | 〒103-8502 | 中央区日本橋箱崎町６－６ | TEL(03)3669-8121㈹ |
| 札幌支店 | 〒060-0041 | 札幌市中央区大通東６－１２－８ | TEL(011)261-7141㈹ |
| 仙台支店 | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東２－１－２９ | TEL(022)236-4121㈹ |
| 東京支店 | 〒103-8502 | 中央区日本橋箱崎町６－６ | TEL(03)3669-8118㈹ |
| 名古屋支店 | 〒461-0025 | 名古屋市東区徳川１－１１－２３ | TEL(052)935-8531㈹ |
| 大阪支店 | 〒553-0004 | 大阪市福島区玉川１－３－１８ | TEL(06)6444-2031㈹ |
| 広島支店 | 〒733-0035 | 広島市西区南観音７－１１－２４ | TEL(082)291-6331㈹ |
| 福岡支店 | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田１－５－１ | TEL(092)411-5416㈹ |
| 盛岡営業所 | 〒020-0824 | 盛岡市東安庭２－１０－３ | TEL(019)621-3541㈹ |
| 宇都宮営業所 | 〒321-0933 | 宇都宮市簗瀬町２３１３ | TEL(028)636-3012㈹ |
| 柏営業所 | 〒277-0871 | 柏市若柴２９７－１２ | TEL(04)7132-1500㈹ |
| 多摩営業所 | 〒190-0022 | 立川市錦町５－１７－１９ | TEL(042)528-3051㈹ |
| 浜松営業所 | 〒433-8117 | 浜松市高丘東２－２２－１５ | TEL(053)439-3300㈹ |
| 南九州営業所 | 〒891-0115 | 鹿児島市東開町３－２４ | TEL(099)269-5347㈹ |
| 新潟マックス㈱ | 〒955-0081 | 三条市東裏館２－１４－２８ | TEL(0256)34-2112㈹ |
| 水戸マックス㈱ | 〒310-0043 | 水戸市松ヶ丘２－３－２７ | TEL(029)255-3761㈹ |
| 群馬マックス㈱ | 〒371-0844 | 前橋市古市町２３３－５ | TEL(027)210-7755㈹ |
| 埼玉マックス㈱ | 〒331-0823 | さいたま市北区日進町３－４２１ | TEL(048)651-5341㈹ |
| 千葉マックス㈱ | 〒284-0001 | 四街道市大日１８７０－１ | TEL(043)422-7400㈹ |
| 横浜マックス㈱ | 〒241-0822 | 横浜市旭区さちが丘７－６ | TEL(045)364-5661㈹ |
| 長野マックス㈱ | 〒399-0033 | 松本市笹賀８１５５ | TEL(0263)26-4377㈹ |
| 長野営業所 | 〒381-2247 | 長野市青木島１－３５－１ | TEL(026)285-6740㈹ |
| 静岡マックス㈱ | 〒422-8036 | 静岡市敷地１－３－２６ | TEL(054)237-6116㈹ |
| 金沢マックス㈱ | 〒921-8061 | 金沢市森戸２－１５ | TEL(076)240-1871㈹ |
| 富山営業所 | 〒930-0827 | 富山市上飯野字樋向割１０－８ | TEL(076)452-0182㈹ |
| 福井営業所 | 〒918-8237 | 福井市和田東２－１７１１ | TEL(0776)27-3378㈹ |
| 京滋マックス㈱ | 〒612-8414 | 京都市伏見区竹田段ノ川原町９ | TEL(075)645-5061㈹ |
| 兵庫マックス㈱ | 〒652-0832 | 神戸市兵庫区鍛冶屋町2-1-2 | TEL(078)652-7370㈹ |
| 三木営業所 | 〒673-0404 | 三木市大村１０９－１ | TEL(0794)83-2121㈹ |
| 岡山マックス㈱ | 〒700-0971 | 岡山市野田３－２３－２８ | TEL(086)246-9516㈹ |
| 四国マックス㈱ | 〒761-8056 | 高松市上天神町７６１－３ | TEL(087)866-5599㈹ |
| 徳島営業所 | 〒770-0866 | 徳島市末広１－４－２５ | TEL(088)623-0286㈹ |
| 松山営業所 | 〒790-0951 | 松山市天山２－１－３５ | TEL(089)913-0608㈹ |
| マックスサービス㈱札幌 | 〒060-0041 | 札幌市中央区大通東６－１２－８ | TEL(011)231-6487㈹ |
| マックスサービス㈱仙台 | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東２－１－２９ | TEL(022)237-0778㈹ |
| マックスサービス㈱高崎 | 〒370-0031 | 高崎市上大類町４１２ | TEL(027)350-7820㈹ |
| マックスサービス㈱埼玉 | 〒331-0823 | さいたま市北区日進町３－４２１ | TEL(048)667-6448㈹ |
| マックスサービス㈱名古屋 | 〒461-0025 | 名古屋市東区徳川１－１１－２３ | TEL(052)935-8210㈹ |
| マックスサービス㈱大阪 | 〒553-0004 | 大阪市福島区玉川１－３－１８ | TEL(06)6446-0815㈹ |
| マックスサービス㈱広島 | 〒733-0035 | 広島市西区南観音７－１１－２４ | TEL(082)291-5670㈹ |
| マックスサービス㈱福岡 | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田１－５－１ | TEL(092)451-6430㈹ |


**●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料） 0120-228-358**
**月～金曜日 午前9時～午後6時**

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

041018-00/03